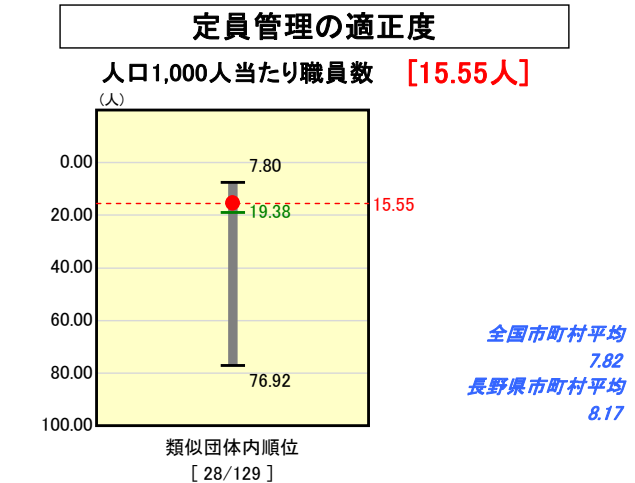
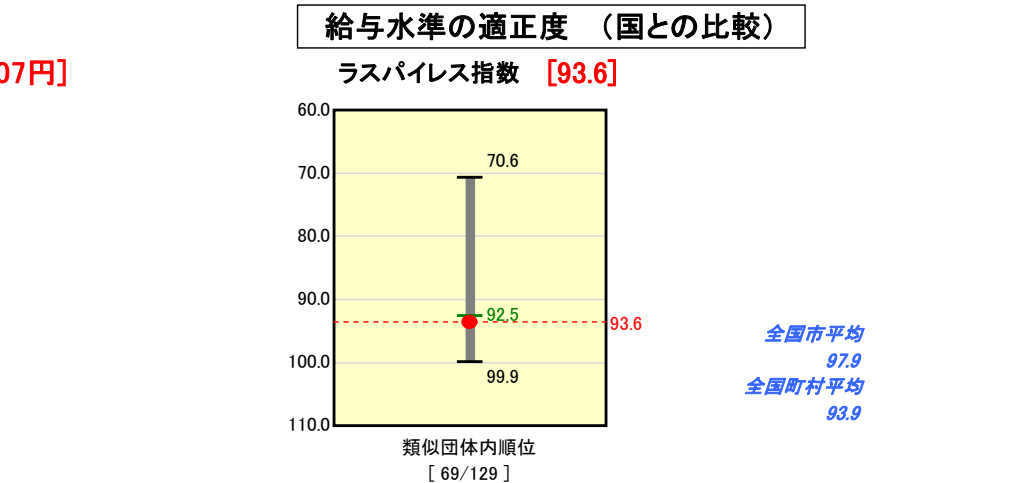
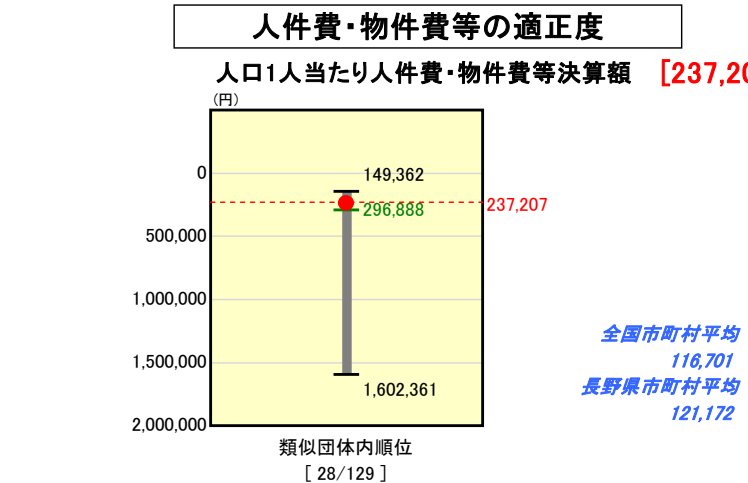
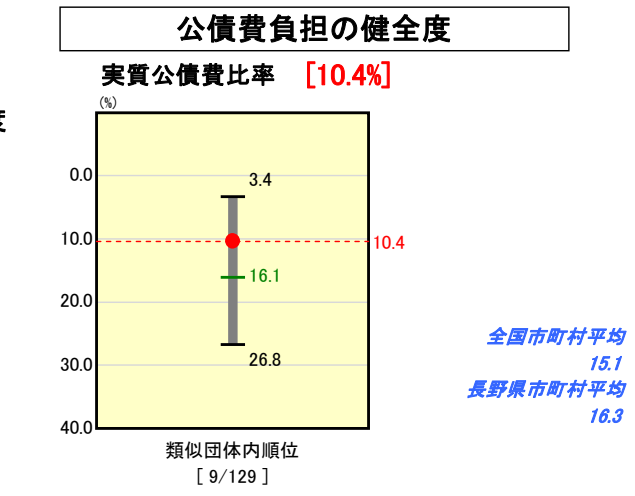
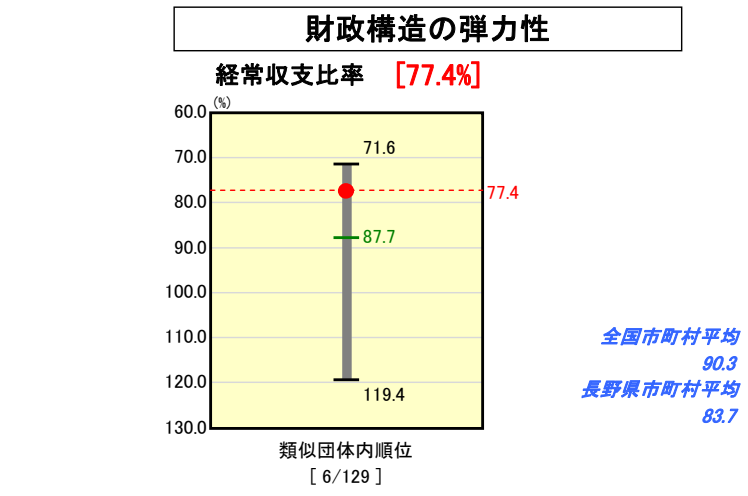
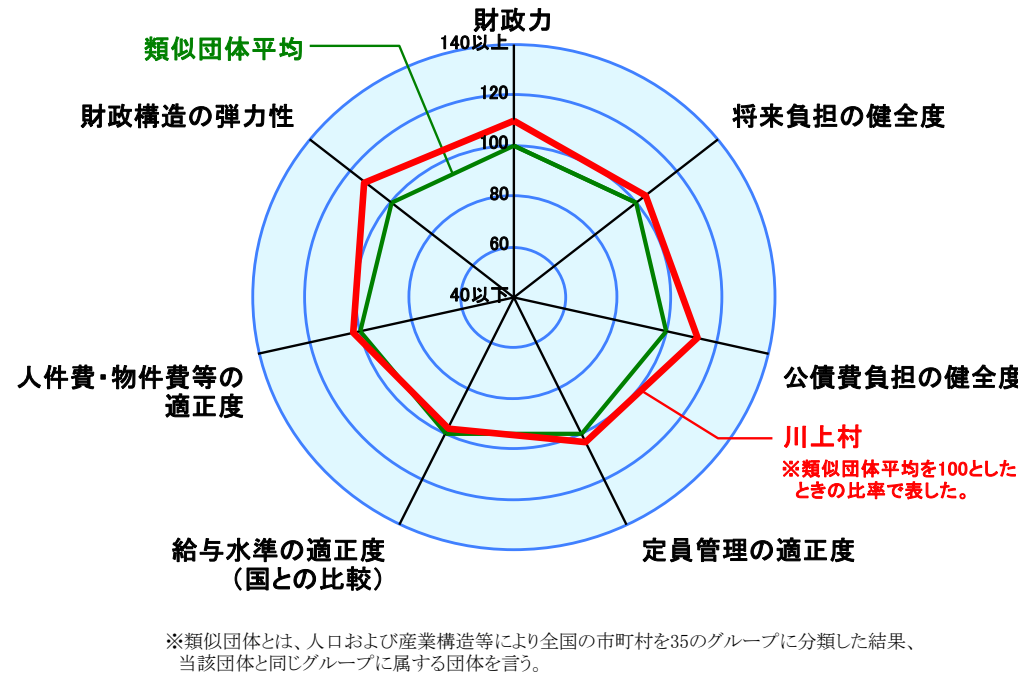
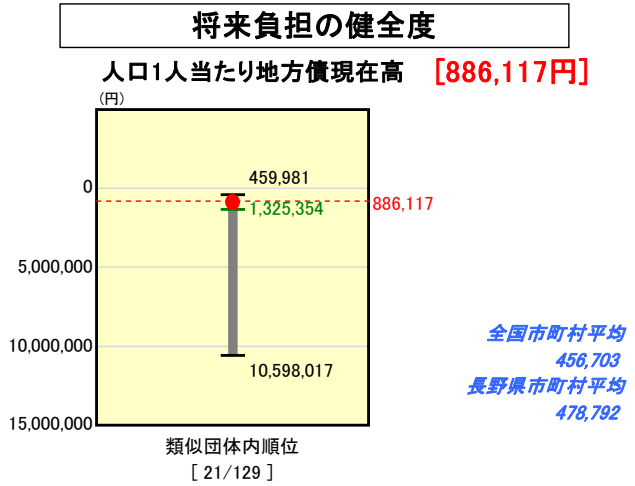
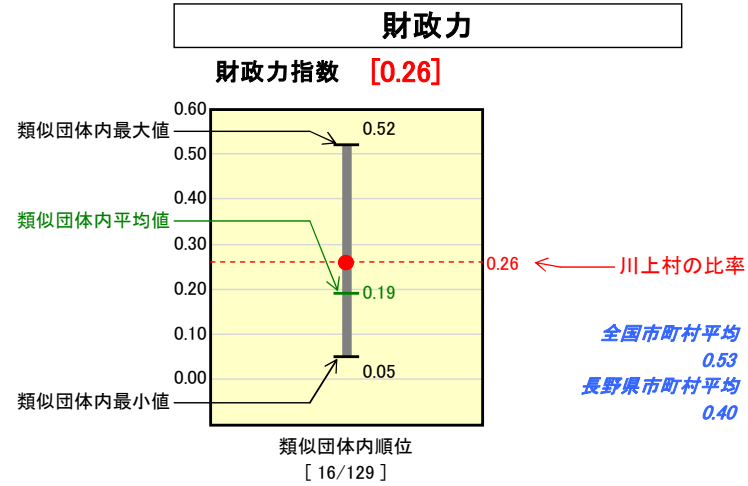


# 市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

## 長野県 川上村

人口	4,501人	(H19.3.31現在)
面積	209.61	km <sup>2</sup>
歳入総額	3,865,849	千円
歳出総額	3,655,641	千円
実質収支	145,480	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

平成18年度決算における市町村財政比較分析表によると、川上村の各々の指標は【給与水準の適正度】以外緑色の実線で表された類似団体の平均値よりも大きなグラフとなっていることから、財政状況は比較的健全な状態といえる。

**【財政力指数】**  
類似団体平均より上回る数値になっているが、主たる産業が農業であることから税収は不安定であり、地方交付税等国に多くの財源を依存する財政構造においては、歳入状況が好転するとは考えられない。今後は収支確保に努めるとともに行政改革プログラムに基づいた歳出削減に努める。

**【経常収支比率】**  
地方債の繰上償還により公債費の削減を図っていることから類似団体平均を下回っているが、最近の人口減少や出生数の低下など本格的な少子高齢化社会に伴う福祉関係経費が増加し比率は大きくなる傾向にある。人件費の削減など行政改革への取り組みを通じて義務的経費の削減に努め、現在の水準を維持する。

**【ラスパイレズ指数・人口1,000人当たりの職員数】**  
ラスパイレズ指数においては給与体系の見直しの遅れにより類似団体平均より僅かに上回る数値になっている。また、人口1,000人当たりの職員数については類似団体より下回っているが、県市町村平均から見ると高い数値になっている。職員適正化計画に基づく職員定数の抑制によりH22までの間に10%の削減を図り、適正な定員管理に努める。

**【人口1人当たり地方債現在高・実質公債費比率】**  
繰上償還に努めてきたことから類似団体平均を下回っている。平成19年度からの中学校改築事業や防災無線施設・CATV(情報連絡施設)のデジタル化といった大型事業が計画され、新規の地方債発行額が見込まれる。このことから、起債残高や公債費の平準化を念頭に、公営企業の地方債も含めたトータルの起債管理に努める。